

## 第 2 1 課 小林さんは目が大きいです

### 大切な表現

1. 東京は交通が便利です。  
鈴木さんは顔が長くて、目が小さいです。
2. このマンションは日当たりもいいし、眺めもいいです。
3. このアパートは交通は便利ですが、家賃は高いです。

### Can-do／学習目標

- ・人や物事の特徴について述べることができる。

### 文法項目

1. N1 は N2 が～
2. ～は～も～し、～も～
3. ～は～は～が、～は～

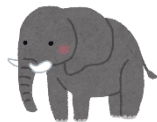
### 導入

#### 1. N1 は N2 が～

①形容詞の復習と、「い形容詞」と「な形容詞」の「接続（て形）」を確認する。

②板書 

全体：主題(名詞)	+	は	+	部分的：特徴や特質(名詞)	+	が	+	形容詞/形容表現
-----------	---	---	---	---------------	---	---	---	----------



- ・象は鼻が長いです。
- ・象は目が小さいです
- ・象は耳が大きいです。

③ p 29 の重点句型 1 を見せ、母語干渉により学生が間違えやすい「東京は交通が便利です」と「東京の交通は便利です」の使用上の差異を説明する。

④ p 30 の「象は鼻が長くて、足が太いです」の並列表現の例を使い、「～は～が～て、～が～」という複合文型も提示する。

#### 2. ～は～も～し、～も～

①板書 

接続の比較 [又～又～]
--------------

	用法	詳細
富士山は高く <u>て</u> 、きれい <u>だ</u> 。	並列兩個形容詞	客観描述・単純連接
富士山は高い <u>し</u> 、きれい <u>だ</u> 。	列舉多個理由或特點	主観、帶評價・帶有「而且」的語氣
映画を <u>見たり</u> 、散歩 <u>したり</u> する。	列舉「動作」	多個動作的舉例表達

②板書 

主題の特徴の並列表現 [又～又～]
-------------------

Step1 

主題	+	は	+	形容表現 1	+	し、	形容表現 2
----	---	---	---	--------	---	----	--------

：富士山は高いし、きれいです。

：この店は安いし、おいしいです。

- ③ p 30～31 の例を提示しながら、**特徴/特質(名詞)**の後続助詞が「が・を」から「も」に置換され、評価を強調するニュアンスを強めることを説明する。また「が・を」以外の助詞についても下記のように説明する。

が ⇒ も	を ⇒ も	へ ⇒ へも	で ⇒ でも	に ⇒ にも
-------	-------	--------	--------	--------

Step2 **主題** + は + **特徴/特質 1(名詞)** + も + **形容表現 1** + し、**特徴/特質 2(名詞)** + も + **形容表現 2**。

：この店は**値段も安いし**、料理**もおいしいです**。

：山田さんは**学校もよく休むし**、宿題**も全然出しません**。

：象は**鼻も長いし**、耳**も大きいし**、かわいいです。

**注意事項**：助詞「も」の位置の混乱を防ぐため、**特徴/特質(名詞)**がない場合は形容表現だけでいいと教える。

- ④ p 30～31 の例を参照しながら、この文型は主題の複数の特徴を並列的に提示し、話者の評価的立場（肯定・否定）を明示的に示す際に使用される文型であると教える。

- ⑤ また、普通体・丁寧体の混用を防ぐため、文体を統一してもいいと伝える。

### 3. ～は～は～が、～は～

① 板書 **主題の特徴の対比/対象表現 [雖然～但是～]**

Step1 **主題** + は + **形容表現 1** + が、**形容表現 2**。

：この店は**安いですが**、おいしいです。

- ② p 32～33 の例を提示しながら、**特徴/特質(名詞)**の後続助詞が「が・を」から「は」に置換され、主題に対することなる側面（長所・短所）の対比を強調するニュアンスを強めることを説明する。また「が・を」以外の助詞についても下記のように説明する。助詞「は」の2重使用に慣れていないため、誤用が生じるかもしれないが、それぞれの「は」の用法に注意を促す。

が ⇒ は	を ⇒ は	へ ⇒ へは	で ⇒ では	に ⇒ には
-------	-------	--------	--------	--------

Step2 **主題** + は + **特徴/特質 1(名詞)** + は + **形容表現 1** + が、**特徴/特質 2(名詞)** + は + **形容表現 2**。

：山田さんは**背は高いですが**、足は短いです。

：この店は**値段は安いですが**、料理はおいしいです。

：このかばんは**品質はいいですが**、高すぎます。

**注意事項**：**特徴/特質(名詞)**がない場合は形容表現だけでいいと教える。

- ③ また、普通体・丁寧体の混用を防ぐため、文体を統一してもいいと伝える。

## 教え方のワンポイント

### 1. N1 は N2 が～

#### 練習 1 N1 は N2 が～①

\* まず、絵カードや形容詞リストなどで、既習の形容詞を復習する。

\* 中国語から日本語への翻訳練習をさせる際は、p 29 の重点句型 1 の母語干渉による学生の言い間違いに注意を促す。

## 会話 1

- \* 「木原さんの出身はどちらですか。」の「どちら」は「どこ」と同じ意味だが、「どちら」のほうが丁寧で柔らかいニュアンスがあるので初対面・目上・正式な場面でよく使用されると説明する。また、会話の相手によって「どちら」と「どこ」を使い分けるようにと伝える。
- \* 「長野なんですか。」の「～んですか」は第19課に出てきたが、相手から何らかの情報を得、その情報を前提に話者が相手を気遣ったり、相手に興味を持ったことを表すと説明する。
- \* 「～すぎる」は過度な程度表現であり、動詞（第19課）だけでなく形容詞にも接続すると説明をする。また、**形容詞+すぎる**という形になったら、何類の動詞でも形容詞でも第2類動詞として扱うことを伝える。（其他文法事項1）
- \* 「まあ、田舎ですからね。」の「まあ」は、相手から何か質問をされ、どう答えたらいいかわからない時に使うと説明する。（其他文法事項3）
- \* 「やっぱり東京が好きだなあ。」の「**普通体**+なあ」は、感嘆・願望・回想などを表す時に使用されると説明する。（其他文法事項4）

## 練習 2-I N1 は N2 が～②

- \* まず、顔のパーツの単語（顔・目など）を絵カードなどで覚えさせる。
- \* 次に、「髪が長い」のような「**部分的特徴や特質**+**が**+**形容詞/形容表現**」の表現を覚えさせる。時間に余裕があれば、「中国語」から「日本語」への翻訳練習をさせてもいい。

学生A：「頭髮很長」？

学生B：「髪が長い」

学生A：「耳朵很大」？

学生B：「耳が大きい」



## 練習 2-II N1 は N2 が～②「いろいろな顔」

- \* まず、名前の呼び方（太田さんなど）を練習させる。
- \* 次に、それぞれの顔の特徴をペアで確認する。
- \* 並列表現の確認のため、p30の「象は鼻が長くて、足が太いです」の例を提示し、「い形容詞」と「な形容詞」では、接続の仕方が異なることを確認する。また、形容詞「いい」の変化は不規則なので注意を促す。
- \* ペアになって、下記のように練習をさせる。

板書 **主題**+は+**特徴**+**が**+**形容詞/形容表現**。

**主題**+は+**特徴**+**が**+**形容詞/形容表現のて形**、**特徴**+**が**+**形容詞/形容表現**。

学生A：太田さんはどんな顔でしょうか。

学生B：太田さんは目が大きいです。

学生A：そうですね。それから？

学生B：太田さんは、顔が四角くて、眉が太いです。



## 練習 2-III N1 は N2 が～②「人の特徴」

- \* まず、人の特徴のパーツの単語（背・首など）を絵カードなどで覚えさせる。
- \* 次に、「背が高い」のような「**部分的特徴や特質**+**が**+**形容詞/形容表現**」の表現を覚えさせる。

時間に余裕があれば、「中国語」から「日本語」への翻訳練習をさせてもいい。

学生A:「个子很高」?

学生B:「背が高い」

学生A:「腰很細」?

学生B:「ウエストが細い」



\*「体が太っている」「体がやせている」は、動詞「太る」「やせる」の状態表現であり、並列表現の際は「～ていて、～」となると教える。(其他文法事項2)

\*「太い」と「太っている」の違いを理解させる。

日本語	品詞	中国語	用法	例文
太い	形容詞	粗・寛	体や物の一部分	このペンは太い。彼は足が太い。
太っている	動詞	胖	人全体の体形	彼は太っている。

\*ペアになって、下記のように練習をさせる。

板書 主題+は+特徴+が+形容詞/形容表現。

主題+は+特徴+が+形容詞/形容表現のて形、特徴+が+形容詞/形容表現。

学生A: 光二君はどんな人でしょうか。

学生B: 光二君は目が大きいです。

学生A: そうですね。それから?

学生B: 光二君は色が黒くて、体がやせていて、足が長いです。



\*顔や人の特徴を述べる際、強調したいところや、体の上から下に向かって説明することが多い。

\*時間に余裕があれば、家族やクラスメートの特徴を紹介させてもいい。

## 会話2

\*「犯人はどんな男でしたか。」の「～でしたか。」は、男性を見た過去の時制に合わせている。

\*「そんな顔じゃなくて、～」は「～ではなくて、」の口語で、前項を否定し、後項で補足・訂正・対比する接続表現だと教える。(其他文法事項5)

\*「もっと」が重複されているのは、強調のニュアンスのためだと伝える。

\*「つい[不知不覺地・不小心就(做了)]」は「つい飲みすぎた(第19課)」に出てきたが、意識しないでしてしまった行動を後悔する副詞だと伝える。

## 2. ～は～も～し、～も～

練習3 このマンションは日当たりもいいし、眺めもいいです。

\*助詞「も」への置換と文体の統一にも注意を促しながら、練習させる。

が → も	を → も	へ → へも	で → でも	に → にも
-------	-------	--------	--------	--------

\*練習3の練習が終わったら、文型の定着を図るため、質問形式で練習をさせてもいい。特徴の部分は、教科書以外の答えでもいいとする。

学生A: このマンションはどんなマンションですか。

学生B: 日当たりもいい(です)し、眺めもいいです。

学生A: このうちはどうなうちですか。

学生B: 部屋も広い(です)し、交通も便利です。

＊時間に余裕があれば、下記のようなトピックで練習させてもいい。ただの並列表現にならないように話者の評価的立場（肯定・否定）を明確にすることに再度注意を促す。

- ・クラスメートの～さんはどんな人ですか。
- ・大谷翔平/陳傑憲…はどんな人ですか。
- ・京都/東京/大阪…はどんな街ですか。
- ・台北/花蓮/台南…はどんなところですか。
- ・象/キリン/うさぎ…はどんな動物ですか。

### 3. ～は～は～が、～は～

#### 練習4 このアパートは交通は便利ですが、家賃は高いです。

＊助詞「は」への置換と文体の統一にも注意を促しながら、練習させる。

が ⇨ は	を ⇨ は	へ ⇨ へは	で ⇨ では	に ⇨ には
-------	-------	--------	--------	--------

＊練習4の練習が終わったら、文型の定着を図るため、質問形式で練習をさせてもいい。特徴の部分は、教科書以外の答えでもいいとする。

学生A：このアパート**は**どんな**アパート**ですか。

学生B：交通**は**便利だ/ですが、家賃**は**高いです。

学生A：このうち**は**どんな**うち**ですか。

学生B：家賃**は**安い（です）が、周り**は**うるさいです。

#### 会話3

- ＊「駅には近いですか。」の助詞「に」は、距離の遠近基準を表すと説明する。（其他文法事項6）
- ＊「通勤に便利な所がいいんですけど…」の助詞「に」は、対象を表すと説明する。（其他文法事項7）
- ＊「通勤に便利な所がいいんですけど…」の「けど…」は、ここでは「いいところを紹介してもらえませんか。」という依頼の「前置き」の用法だと説明する。
- ＊「ええと」は、場つなぎの言葉で、会話が自然に聞こえる効果を持つと伝える。